

ユーロ圏金融政策（2025年3月）

5会合連続で0.25%ptの利下げを決定

2025年3月7日

引き締め度合いは有意に低下、不確実性は極度に高い

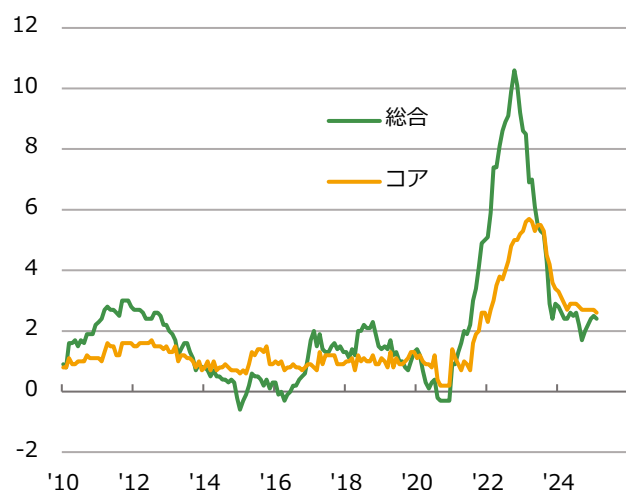
ECB（欧州中央銀行）は3月5・6日（現地）の理事会で、現在の主たる政策金利である中銀預金金利（銀行がECBに所要準備を上回って預け入れる資金の金利）を市場予想通り2.75%から2.5%へ引き下げました。昨年6月に利下げを開始し、9からは5会合連続で利下げを実施したことになります。

理事会での議論のポイントとして、ラガルド総裁は3点指摘しました。第一に、デイスインフレの順調な進展です。第二に、現在の金融政策に関して「引き締め度合いは有意に低下しつつある」との判断です。これまでの「引き締めのままである」から声明文の表現を修正しました。今次利下げ局面で計1.5%ptの利下げを実施した結果、中立金利のレンジとしてECBが2月のレポートで示した1.75～2.25%に中銀預金金利が接近していることを明示したと言えます。第三に、貿易政策をはじめとする不確実性が極度に高いことです。金融政策はかつてない程にデータ次第であると総裁は述べています。

不確実性の1つとして、ドイツにおける国防費とインフラ投資の大幅増の方針やEU全体での国防費の増加の見通しにも総裁は言及しましたが、決定事項ではないため、今回のECBの経済見通しには反映されていません。実際、それらが決定し実行に移され効果が表れるまでには相応の時間を要します。従って、当面は経済データが目立って改善する可能性は低く、少なくとも中立金利のレンジの中心である2%までは利下げを継続すると予想します。その後は、財政政策との整合性を考慮しつつの対応となりそうです。

ユーロ圏の消費者物価指数

(前年同月比、%) (2010年1月～2025年2月)

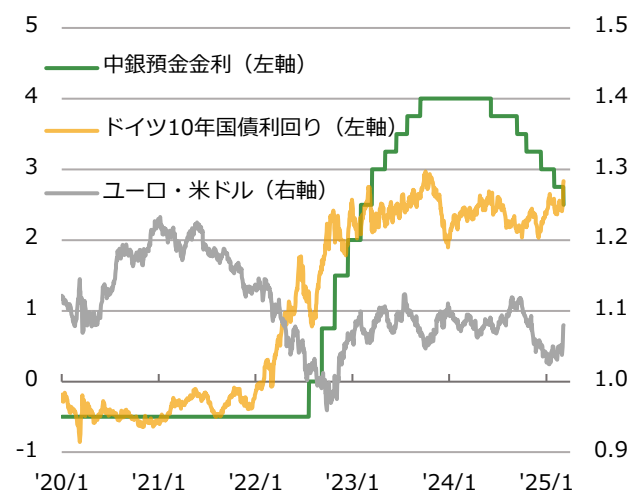


※コアは食品・エネルギー・アルコール・タバコを除く系列

(出所) 欧州統計局

ユーロ圏の金利と為替

(%) (2020年1月初～2025年3月6日) (米ドル/ユーロ)



※中銀預金金利は発表日ベース

(出所) ブルームバーク

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management